

2018年6月29日

各位

三井住友トラスト・ホールディングス株式会社

三井住友信託銀行株式会社

**「三井住友トラスト・グループのフィデューシャリー・デューティーに関する取組方針」の改定
および三井住友信託銀行における行動計画の見直しについて**

三井住友トラスト・ホールディングス株式会社(取締役社長:大久保 哲夫、以下「当社」)においては、今般、「三井住友トラスト・グループのフィデューシャリー・デューティーに関する取組方針」を改定するとともに、前年度の取組状況等を踏まえ「お客さまの『ベストパートナー』を目指すための取組状況と成果指標(KPI)」を公表いたしました。また、三井住友信託銀行株式会社(取締役社長:橋本 勝、以下「三井住友信託銀行」)においても同方針に基づく行動計画を見直しましたので、以上についてお知らせいたします。

記

三井住友トラスト・グループでは、お客さまの真の利益に適う商品・サービスを提供してまいりべく、2016年に、「三井住友トラスト・グループのフィデューシャリー・デューティーに関する取組方針」(以下「取組方針」)と、同方針に基づく三井住友信託銀行の行動計画(以下「行動計画」)を策定・公表し(いずれも、2017年6月に改定・見直しを実施)、グループ各社において、フィデューシャリー・デューティーの浸透・実践を進めてまいりました。また、2017年6月に、当グループのお客さま本位の取組状況をわかりやすく確認できる指標として、「お客さまの『ベストパートナー』を目指すための取組みに関する成果指標(KPI)」(以下「成果指標」)を公表しております。

グループ各社の行動計画・行動指針の実施状況やお客さまの声・評価、利益相反管理委員会などにおける外部有識者のご意見や本年10月に予定されている運用事業の分社化なども踏まえ、フィデューシャリー・デューティーの更なる浸透・実践の促進やお客さま本位の業務運営の徹底のため、今般、別紙のとおり、「取組方針」を一部改定するとともに、「行動計画」の見直しを行いました。また、成果指標についても、当グループにおけるこれまでのお客さま本位の取組状況などを踏まえ「お客さまの『ベストパートナー』を目指すための取組状況と成果指標(KPI)」として、内容を拡充しております。

なお、主なグループ会社のお客さま本位の取組状況等は以下のとおりでございます。

三井住友トラスト・アセットマネジメント株式会社 <http://www.smtam.jp/company/policy/fiduciary/>

日興アセットマネジメント株式会社 <http://www.nikkoam.com/about/fiduciary>

日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (本日公表予定)

以上